

平成31年度第1回放課後子どもプラン運営委員会会議録

日 時 4月25日(木) 午前10時30分から12時

場 所 801会議室

出席者 大熊教育長、藤本生涯学習部長、

田中委員長、浦野副委員長、石原委員、志波委員、佐藤委員、多田委員、大久保委員、並木委員、前田委員、増山委員、黒田委員、

関生涯学習課長、林公民館長、松井庶務課長、浜田指導室長、鈴木児童青少年課長、富田子育て支援課長

富沢コーディネーター、中村コーディネーター、伊藤コーディネーター、小岩コーディネーター、淵上コーディネーター、成田コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、吉田コーディネーター、伊野コーディネーター、

小堀生涯学習係長、鈴木生涯学習係主任

欠席者 旭岡委員、菊池図書館長

傍聴者 2名

1 開 会

- (1) 小金井市放課後子どもプラン運営委員の委嘱状交付及び任命

任期：平成31年4月25日～令和2年3月31日

- (2) 教育長挨拶

この事業は、子どもの未来をつくる大切な事業です。平成19年度から始まりまして、全国各地でそれぞれの地域の特性を生かした取り組みを展開しています。地域の子どもの地域で守り育てていくためには、地域・家庭・学校が協力・連携して安全・安心な居場所づくりを推進するとともに、福祉部門と教育部門が連携しながら推進していくことが重要であります。放課後や週末等に子どもの活動拠点を設け、子どもたちが地域の大人や異年齢の子どもたちと様々な活動を実施する取り組みを推進することは、地域の多くの大人の参加を推進させ、地域コミュニティの充実及び地域の教育力の向上に大きな効果を上げるものであり、地域の大人にとって地域のつながりを深めるきっかけにもなるものであります。

小金井市の放課後子ども教室は、各学校の状況にあわせて地域の特性を活かしながらボランティアの方々に運営していただいています。担い手には地域の方を中心としたコーディネーター、学習アドバイザー、安全管理員とボランティアの皆様には大変ご協力いただき感謝しています。平成31年度の予算額は1,056万4千円となり、平成30年度の予算額に比べ200万円の増額になりました。その理由は担い手の方々の謝金の増額分となっており、少しですが増額させていただき

ました。

これからの放課後のあり方について、教育委員会としてはどういう方向に進むかということを確認するため、資料の「平成31年度第1回小金井市放課後子どもプラン運営委員会 放課後の子どもの居場所作りの考え方について」でお示しします。

まず最初に目的として考えられることは、

子どもの放課後を充実すること

心も体も安全な居場所を確保すること

子どもにとって多様な体験・活動の充実ということ

であります。改めてこの三つは大事な視点として捉え、そのための今年度の方向性としては

放課後子ども教室の全日開催を目指した試行の開始

子どもの放課後の充実に向けた再検討

の二つを示させていただきます。

居場所を確保するために、放課後子ども教室の全日開催を目指した試行の開始ということで、本町小学校で10月から開始させていただきます。どのような問題点があるか研究させていただいて次の学校に広めていきたい。

さらに子どもの放課後のあり方について、皆さんからいろいろご意見をいただきながら子どもの放課後の充実に向けた再検討をしていく。子どもの安全な居場所を確保するという点に関しては、学童、児童館、公民館、図書館等の連携をさらに図っていく。そのためには、学校が中核となってこの方針を決めていくことも必要。小金井はたくさんの地元の子どもの居場所があり、それは地域の方々の不断の努力によって作り上げられたものであります。特色もあるし、地域の子どもの実態に即した子どもの居場所が今もある。これを無視して、一律の施策は小金井の場合は絶対に打てない。だから学校が拠点となって、それぞれの地域の人たちの声を聞きながらその学校にあった子どもの放課後のあり方を検討していく必要があります。

今年度も様々な場面でどうやったらいいのか皆さんのお知恵を発揮していただいて、さらなる子どもの放課後の充実に向けた施策に取り組んで参ります。

- (3) 小金井市放課後子どもプラン運営委員及びコーディネーター紹介・挨拶

2 議 事

- (1) 小金井市放課後子どもプラン運営委員会委員長及び副委員長の選出
運営委員長は田中委員、副委員長は浦野委員が選任された。

- (2) 放課後子どもプランについて

【事務局】資料に沿って説明

- 【外部委員】本町学童の児童が増えていて立て直しの件について、本町ではなく貫井北町の土地ではだめか。
- 【内部委員】新・プランの方にも、できれば学校の敷地の中で学童保育所を建設していくとされている。今、9所の学童保育所のうち、緑、本町、4小は学校の敷地外にある。子どもたちが学校が終わってすぐに行ける場所となると、学校の敷地の中にあるのが好ましい。貫井北の方になってしまうと、学区が変わってしまうこととかどのように通うかといったことがあるので、できるだけ学校の近くで探せばいい。
- 【外部委員】今の本町小学校から本町学童と同じぐらいの距離で貫井北ではだめなのか。あくまで本町でないとだめという決まりがあるのか。
- 【委員長】児童館と学童を別にとということか。
- 【外部委員】予算的に二つを建てるのは無理なのはわかる。
- 【委員長】議題については以上。他に何か質問はありますか。
- 【コーディネーター】予算について、本町小の10月からの週5日開催分が空欄になっているが金額を教えてください。
- 【事務局】現状では0円となっているが、今後他で余った分や補正予算等で対応したい。
- 【コーディネーター】事業計画はあるけど予算は0円ということで理解していいか。
- 【事務局】現段階ではそのとおり。
- 【コーディネーター】予算の実行委員預かりの中学校のところ、前年度より増えている。中学校の方針がでていないのかかわらず、予算が増えているのはなぜか。
- 【コーディネーター】実行委員会の話し合いでは、緑中放課後図書室解放は実績がないのに予算は増やさないとということで、昨年度最後の運営委員会でも予算は現状維持と承認されている。今年度増額することに何か説明があれば。
- 【内部委員】今年度の予算総額は資料の合計欄の10,564千円である。一律10パーセント減で算出しているが、今後実行委員会で各学校区分は確定していきたい。
- 【委員長】予算の決定は実行委員会ではなく、運営委員会が行わなければならないので、実行委員会開催後改めて運営委員会で示す。
- 【外部委員】昨年度議事録が添付されているが、議事録の一番最後に内部委員の発言で中学校区は平成31年度予算措置において現状維持と書いてある。これになったという経過を説明していただきたい。変わったなら変わった経緯の説明を。
- 【委員長】事務局の方から、再検討して実行委員会にまずその案を示したいということで、予算の決定権は運営委員会にあるので、次回そこで改めて提案があるということよろしいか。
- 【外部委員】今年度秋から本町小で全日開催をすることはいいことだと思いますが、人材の確保はできているのか。
- 【コーディネーター】今回謝金が上がって新しく5人のボランティアが増えたこと

もあってスタッフ的には大丈夫。あとは予算がつけば大丈夫。

【コーディネーター】前原小の校庭遊びは、参加児童数がだいたい140から170人。それに対して安全管理員を6人配置している。本町小の校庭遊びの参加児童数と安全管理員の人数は。

【コーディネーター】本町小では学童が離れているため参加が少なく、校庭遊びの参加児童数は40～50人、安全管理員は4人。

【委員長】今後全校、全日開催を目指すことは非常に愛のあることだと思いますので、今後皆さんのお知恵をおかりしながら事業の推進を図っていきたい。

【事務局】次第の配布資料（9）各小学校区チラシについては後日送付する。

平成30年度第6回の会議録の確認をお願いします。

【委員長】これで第1回運営委員会を終了します。